

NEWS RELEASE

「環境計画 2025」の策定および SBT イニシアチブ 1.5°C目標の認定取得
「カーボンニュートラル」「サーキュラーエコノミー」「ネイチャーポジティブ」の実現に貢献



SCIENCE
BASED
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

三菱電機株式会社は、当社グループの環境課題への長期的な取り組み姿勢を定めた「環境ビジョン 2050^{*1}」に基づく新たな計画として、「環境計画 2025 (2024~2025 年度)」を策定しました。また、2030 年に向けた当社グループの温室効果ガス排出量削減目標を従来から更新し、この新たな目標がパリ協定の「1.5°C目標」を達成するための科学的根拠に基づいた目標であると認められ、SBT (Science Based Targets) ^{*2} イニシアチブの認定を取得しました。

当社グループは、サステナビリティの実現を経営の根幹に位置づけ、2050 年を見据えた「環境ビジョン 2050」のもと、2030 年度までに工場・オフィスからの温室効果ガス排出量実質ゼロ、2050 年度までにバリューチェーン全体での温室効果ガス排出量実質ゼロとすることを目指しています。

今後も当社グループは、環境計画や SBT に関する取り組みを着実に実行し、「カーボンニュートラル」「サーキュラーエコノミー」「ネイチャーポジティブ^{*3}」の実現に向けたバリューチェーン全体での環境負荷低減を加速することで、持続可能な地球環境の実現に貢献します。

「環境計画2025」の概要

当社グループでは、「環境ビジョン」の実現に向けた施策と目標からなる「環境計画」を数年ごとに策定しており、「環境計画 2025」は「環境計画 2023 (2021 年度~2023 年度)」に次ぐ新たな計画です。本計画では、「2030 年度までに工場・オフィスからの温室効果ガス排出量実質ゼロ」の実現に向けて、2025 年度の温室効果ガス排出量削減目標を設定した他、「カーボンニュートラル」「サーキュラーエコノミー」に貢献する LC-CO₂ ^{*4} 排出量の簡易算定や、政府が掲げる「30by30^{*5}」の実現に寄与する「ネイチャーポジティブ」領域での目標設定等を行いました。

※1 三菱電機グループ環境ビジョン 2050

<https://www.MitsubishiElectric.co.jp/corporate/sustainability/environment/vision2050/>

※2 国連グローバル・コンパクト (UNGC)、世界自然保護基金 (WWF)、CDP、世界資源研究所 (WRI) による国際的な環境イニシアチブ。企業に対して、気候変動による世界の平均気温の上昇を産業革命前と比べて最大でも 2°C未満に抑制するという目標に向けて、気候科学の知見に整合した削減目標を設定することを推進

※3 生物多様性の損失を食い止め、回復させること

※4 ライフサイクル CO₂：製品ライフサイクル全体を通して排出される全ての CO₂

※5 2030 年までに陸と海の 30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする目標

<https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/30by30alliance/>

領域	評価指標	目標
カーボンニュートラル	温室効果ガス排出量 スコープ 1 ^{※6} 、スコープ 2 ^{※7}	2013 年度比 53%以上削減 ^{※8}
	温室効果ガス排出量 スコープ 3 ^{※9}	2018 年度比 17.5%以上削減
サーキュラーエコノミー	簡易 LC-CO ₂ 排出量算定	当社 2024、2025 年度新規モデル(最終製品)を対象に算定
	プラスチック排出物の有効利用率(国内)	92%以上
ネイチャーポジティブ	高リスク拠点の水使用量の売上高原単位	2019 年度比 6%以上削減
	ネイチャーポジティブへの貢献	当社製作所の機能緑地 ^{※10} を自然共生サイト ^{※11} へ登録

SBTイニシアチブの認定を取得した三菱電機グループの削減目標

当社は、2020 年に、2030 年に向けた当社グループの温室効果ガス排出量削減目標が、「パリ協定」の「地球の気温上昇を産業革命前の気温と比べて 2°C未満に維持する」ための科学的な根拠に基づいた目標であるとの認定を SBT イニシアチブから取得しました^{※12}。

今回、この目標を更新し、Scope スコープ 1 及びスコープ 2 の目標は「1.5°C以内に抑える水準」として、またスコープ 3 の目標は「2°Cを十分下回る水準」として、それぞれ SBT イニシアチブより更新認定を取得しました。

スコープ 1+2	2030 年度までに温室効果ガス排出量を 2021 年度基準で 42%削減
スコープ 3	2030 年度までに温室効果ガス排出量を 2018 年度基準で 30%削減

加えて、スコープ 3 については、対象範囲を従来のカテゴリ-11^{※13}のみから、全てのカテゴリ-11に拡大しています。

お問い合わせ先

<報道関係からのお問い合わせ先>
 三菱電機株式会社 広報部
 〒100-8310 東京都千代田区丸の内二丁目 7 番 3 号
 TEL 03-3218-2332 FAX 03-3218-2431

※6 自社における燃料使用に伴う直接排出

※7 外部から購入した電力や熱の使用に伴う間接排出

※8 カーボン・オフセットを含む

※9 スコープ 1、2 を除くバリューチェーン全体からの間接排出

※10 三菱電機の機能緑地

https://www.MitsubishiElectric.co.jp/corporate/sustainability/environment/naturalsymbiosis/green_space/

※11 環境省「自然共生サイト」<https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/30by30alliance/kyousei/>

※12 2020 年 1 月 17 日広報発表 <https://www.MitsubishiElectric.co.jp/news/2020/0117.html>

※13 販売した製品の使用に伴う排出